

問 以下の文章は、昭和戦前期において、政党の影響力が地方の政治や行政から取り除かれてゆく経緯を記した文章である。それを読んで下の問いに答えよ。

「著作権の関係上、文章は掲載しておりません。」

筒井清忠『戦前日本のポピュリズム 日米戦争への道』（中央公論新社、2018年）
pp.176-177。

問 以上の文章のあと、著者は村田のめざした警察のあり方は地域住民に非常に歓迎され、政党の影響力は排除されたと述べている。なぜ村田の警察の改革は住民に歓迎され、民主的なはずの政党の影響力が排除されたのか。その理由を、村田が赴任する以前の政党と警察のあり方や住民への接し方と、村田が赴任して以降のそれらを比較して考え、600文字以内で記せ。